

視聴覚教育

NO. 50

発行日 54.2.25
発行行 岡崎市AVL
編集 岡崎市委員会
印刷 岡崎市委員会

8mm映画『しめなわ』が優秀賞

●県自作視聴覚教材コンクール

去る二月二十日、愛知県教育センターで、五十三年度、県自作

視聴覚教材コンクール入賞者の表彰式が開催された。

同コンクールへの作品応募は、県内全成から九十三点あり、岡崎市からも地学サークルのビデオ作品「大平川の水の旅」をはじめ十点が出品された。

審査の結果、岡崎市視聴覚ライブラリー自作委員会が作成した八ミリ映画「しめなわ」(大門での取材)は見事、優秀賞を獲得し、表彰式の会場で上映された。(他にも三点の作品が受賞)

▼優秀賞

・八ミリ映画「しめなわ」 視聴覚ライブラリー自作委員会

▼努力賞

・ビデオ作品「みそづくり」 視聴覚ライブラリー自作委員会

▼佳作

・ビデオ作品「Joyful English」

現職教育英語部視聴覚サークル

・ビデオ作品「しまだら町のぶどうづくり」

視聴覚ライブラリー自作委員会

応募作品のすべては、視聴覚ライブラリーにあるので授業に大いに活用していただきたい。

放送番組と学習指導要領表の作成

現職教育視聴覚部では、小学校の社会科、理科、道徳、中学校の社会科、理科、英語科については特にテレビを中心とした放送番組の活用をすすめている。

その一つに、年間学習指導計画案の中にテレビ番組の位置づけを示した「放送番組と学習指導要領表」の作成がある。

昨年より、各校へも配布してきたが放送学習をすすめる上で大変都合がよいとの好評を得ている。来年度分についても四月には配布できるように準備しているので活用して欲しい。

一月二十六日(金)の本校における「図書館研究全国大会」の際には多数の参加をいただき、ありがとうございました。「学習指導(社会科)における学校図書館の利用」というテーマのもと、自ら「図書館(視聴覚資料も図書館資料の一部という考え、従って 視聴覚室も図書館へ資料センター」という考え)を利用する子の育成」ということで、そのために、学習の中でしっかりと課題意識を持ち、その解決のために図書館を積極的に利用し、調べ学習、発表学習を行なってきました。その際の、資料活用力の育成の面から、子ども自身で保管して↓

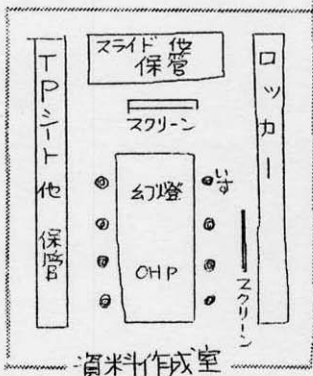
学習をする時など、機器操作↓
子どもでも機器が操作でき、
からせ、習熟したものは

今では、TPアップをー
て、それをOHPで発表し
操作はすべて子ども自身で
学年に依りてその習熟度は、
かなり高くなっております。

また子ども自身が自由に使い、作れる資料作成室を
作りました。ここにはOHP、幻灯機、TPシート、白
地図、B紙などが置かれ、特に社会科学習に役立って
います。授業中はもちろん、授業後、このへやで学習自
する子が、小えてきました。



あるスライドをラフレしたり、自作したTPを発表
作の能力をつける必要が生じてきました。そこで
るようにということと、その基本技術の習得をは
「許可証」を発行しております。
年生の子が自由に使い、TPを作成し
ていますし、六年生では、VTRの
行っております。他の機器でも各



- 16ミリフィルムの貸し出し、状況をフィルム別にすると学校関係では天体関係、社会教育では動画や劇映画の利用が多い。12月までの上位は欠かさず通り。
- ▼ 学校教育へ3
- ① 冬の星 ① 海底二万哩
- ② 夏の星 ② 花の木村と盗人たち
- ③ 歴史の都京都 ③ UFO国の交通安全

カブトリー...
16mmフィルム
人気の高い...
「海底二万哩」